～輸送の安全確保を目指して～

列車事故発生を想定した「異常時総合訓練」を実施

１２月１５日（木）午前９時２０分から宗吾車両基地で実施

佐倉警察署および佐倉市八街市酒々井町消防組合と合同で、１２月１５日（木）午前９時２０分から、宗吾車両基地（千葉県印旛郡酒々井町）で「異常時総合訓練」を実施しました。

今回実施した異常時総合訓練の様子

この訓練は、１２月１０日（土）から取り組む「年末年始輸送安全総点検」の一環として実施したものです。海外旅行や初詣等で多くのお客様が当社線をご利用になる年末年始に合わせ、社員一人ひとりが安全意識の高揚に努め、輸送の安全確保と重大事故発生時における処理・技術力の向上を図りました。

訓練は、踏切内において普通乗用車と列車が接触し、列車が脱線、上下線とも不通になり、乗客の中にも負傷者が出ていることを想定して行いました。

上記想定のもと、対策本部の設置や関係各方面への連絡通報、列車内に閉じ込められた負傷者の救出救護、お客様の誘導案内、事故現場の復旧作業などを、鉄道の各部門（運輸部・施設部・車両部）約２００人と、佐倉警察署、佐倉市八街市酒々井町消防組合が合同で行いました。この他、信号炎管の点火訓練も行いました。

異常時総合訓練の実施について

１．日　　時　　平成２３年１２月１５日（木）　９時２０分～１３時００分

２．場　　所　　宗吾車両基地

３．参 加 人 員　　約２００名

４．訓練の概要

（１）事故復旧訓練

①事故想定内容

酒々井～宗吾参道間の踏切において、直前進入してきた普通乗用車と下り特急列車が接触し脱線した。この事故により駆動装置及び、ＡＴＳ受電器が破損、枕木が損壊、踏切遮断機及び踏切警報機が損壊、下り電車線が垂下等の被害が発生した。事故列車により上り線も支障し、上下線とも不通となったほか、重軽傷者含む乗客６名、乗用車の運転手１名が負傷した。

②訓練内容

（ア）事故対策本部・現地対策本部の設置

（イ）列車防護、連絡通報

（ウ）負傷者救出、旅客の誘導案内

（エ）緊急出動、復旧作業

（２）信号炎管点火訓練

・訓練内容

信号炎管の点火方法と使用方法

【ご参考】

当社では、年１回実施する「異常時総合訓練」のほか、安全輸送確保の取組みとして、地震計の増設や高架橋耐震補強工事を推進したほか、デジタルＡＴＳの設置区間を拡大しました。

これらの安全への取組みの成果として、本年１０月に関東運輸局長から**鉄道等運転無事故事業者表彰を６年連続で受賞しています。**